

事業名	信州の木自給圏構築事業		担当課	部局	林務部
			課・局・室	信州の木活用課県産材利用推進室	
総合5か年計画	プロジェクト	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 2 信州の木の利用促進	E-mail	mokuzai@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開		実施期間	H28 ~ H29	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-4 活力と循環の信州経済の創出			
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 イ 地域資源を活用した自立的な経済構造の構築 ア 地域資源の活用			

1 事業の概要

目指す姿	力強い地域の林業・木材産業を再構築させ、森林資源を活かし続けながら森林づくりを進めるといった、地域の特徴を活かした資源の循環利用の仕組みを確立し、林業・木材産業が自立した産業となるために、各地域で生産される森林資源を効率的、安定的に供給し、有効に利用していく体制が整い、県内の森林から生産された木材は、カラマツをはじめ多様な樹種を有する長野県産ならではの強みや特長を活かす形で、建築用材やバイオマスエネルギーなど、様々な用途に利用され、地域の林業や木材産業、さらには木材利用産業での経済活動が継続的に活発に行われている。 ○全体目標:年間素材生産量750千m <sup>3</sup> (H32)、県産材製品出荷量150千m <sup>3</sup> (H32)、木質バイオマス生産量109千m <sup>3</sup> (H32)
現状(予算編成時)	○県内の森林資源は、先人の努力の賜により充実し、育てる時代から伐って使う時代に来ているが、近年では林業の採算性の悪化とともに、林業・木材産業の低迷が続いており、このままでは、今後の県産材需要に応えることができず、適切な森林施策も進められないといった状況に陥っている中で、現在県内では「信州F・POWERプロジェクト」をはじめ、木質バイオマス発電施設も各地域で計画され、また、他県での大型木材利用施設も稼働を始めていることから、県域及び各流域での森林・木材の自給圏づくりについての研究を進める必要がある。

県が関与する理由	県関与の必要性あり 県民との協働による実施:今後実施予定	【左記の説明、根拠法令等】 木材関係事業補助金交付要綱(県)
----------	---------------------------------	-----------------------------------

成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)					
	○流域別現況・ボトルネック調査 2流域 ○県産材製品出荷量124千m <sup>3</sup> ○木質バイオマス生産量33千m <sup>3</sup>					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H28実施内容	H27(当初)	H28(要求)	H28(予算案)
	森林、木材の自給圏構築に向けた調査・検討	直接	現状の検証とボトルネック等の発掘、自立に向けた方向性の検討を行うため、県域検討会と流域部会を設置し、木材自給圏構築にむけた方向性を検討	0	1,186	1,225
		委託	・各流域の川上・川中・川下の林業・木材産業及び住宅等木材利活用産業の現状とボトルネック ・他流域、他都道府県での利活用等の動きと現在の対応 ・各流域の木材森林自給圏に向けた不足部分に係る整備の方向性 等の調査 ・松くい虫被害材を活用した低コストチップの開発	0	6,000	6,221
	合計			0	7,186	7,446

事業コスト	区分(単位:千円)	26年度	27年度	28要求	28予算案	成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越					項目	H26末	H27末(見込)	H28			H29目標
		当初予算			7,186	7,446				目標	成果	達成状況	
		補正予算					流域別現況・ボトルネック調査	-	-				2流域
	合計(A)		0	0	7,186	7,446	県産材製品出荷量	-	-	124千m <sup>3</sup>			
	Aの財源	一般財源			7,186	0	木質バイオマス生産量	-	-	33千m <sup>3</sup>			
		県債											
		国庫支出金											
		その他	0	0	0	7,446							
	決算額(B)												
概算人件費	職員数(人)			0.40	0.40								
概算人件費(C)		0	0	3,303	3,303								
概算事業費(B(A)+C)		0	0	10,489	10,749								

指摘事項等への対応	(指摘事項等)	(対応)
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善		

要求からの主な変更点	信州の木先進的利用加速化事業において要求していた「松くい虫被害材を活用した低コストチップ開発」について、本事業で統合して実施するとともに、森林整備加速化・林業再生基金の活用期間延長に伴い、財源を一般財源からその他(基金繰入金)に変更
------------	--